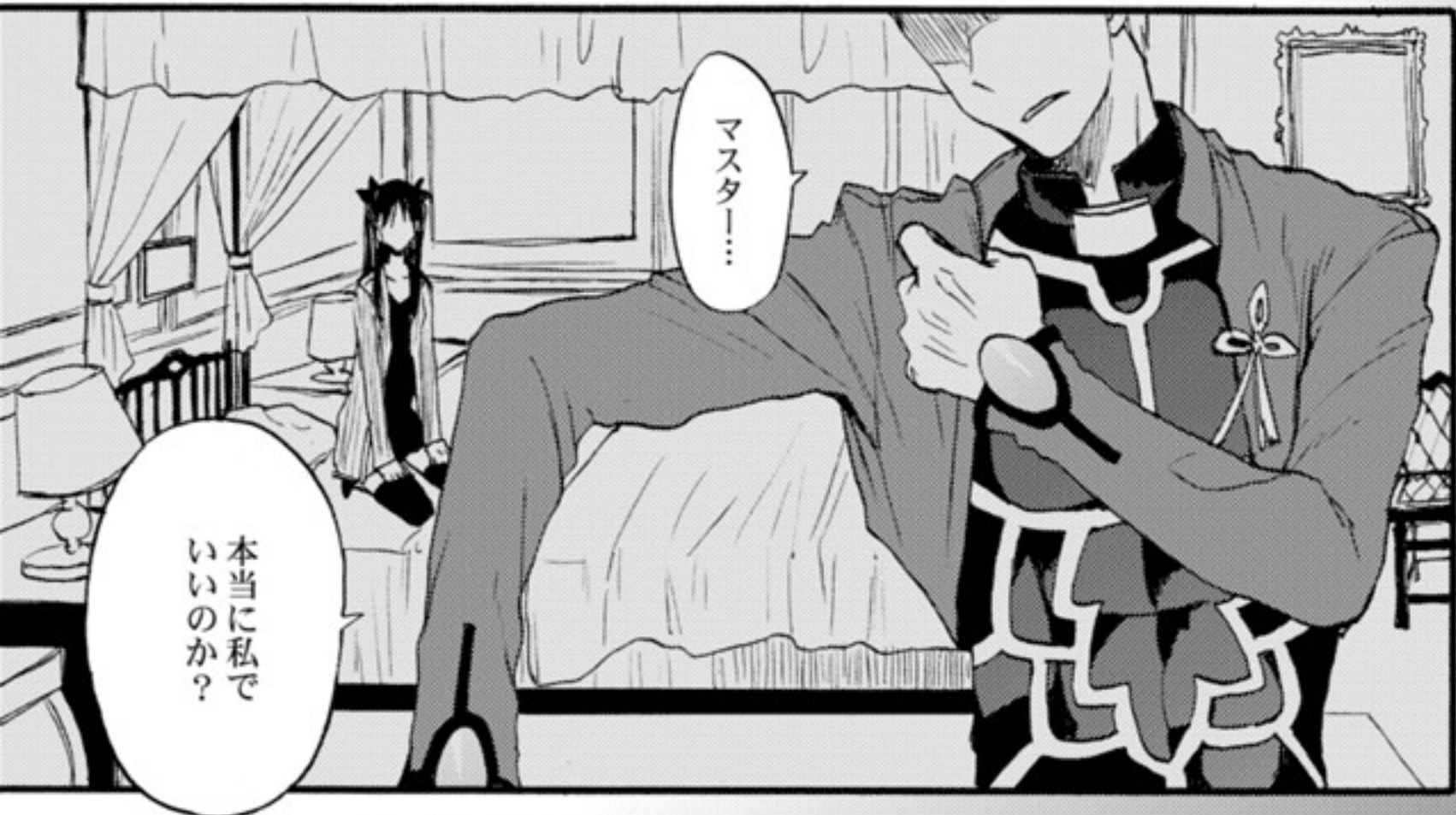




純潔
の
下
で
は
天蓋
の
下
で

じゅんけつ
の
した
で
は
てんがい
の
した
で

Adult
Only





…ア・ン・タ・が・い・い・っ・て
言・っ・て・ん・で・し・ょ!?

女の子に
これ以上
言わせないで
よね



わかったわかった…
それならば
一時的に私は
君のサーヴァントを
やめて

一人の男として
君をエスコート
しよう



それでいいな?
凛



……うん





まだだ
腕と脚を私に回して

しがみつくとように

う……う……

う……？

そうだ凛
もっとしっかり

カエルっぽい……
オンパバッタ？

……
ん……これで
いいの？

なんか
変じゃない??



あ……

服が邪魔だな…凛
脱がしてやろう



どうだ凛
落ち着いたか？



……ん…
まだドキドキ
するわよ…

でも
ヤな感じ
じゃない…

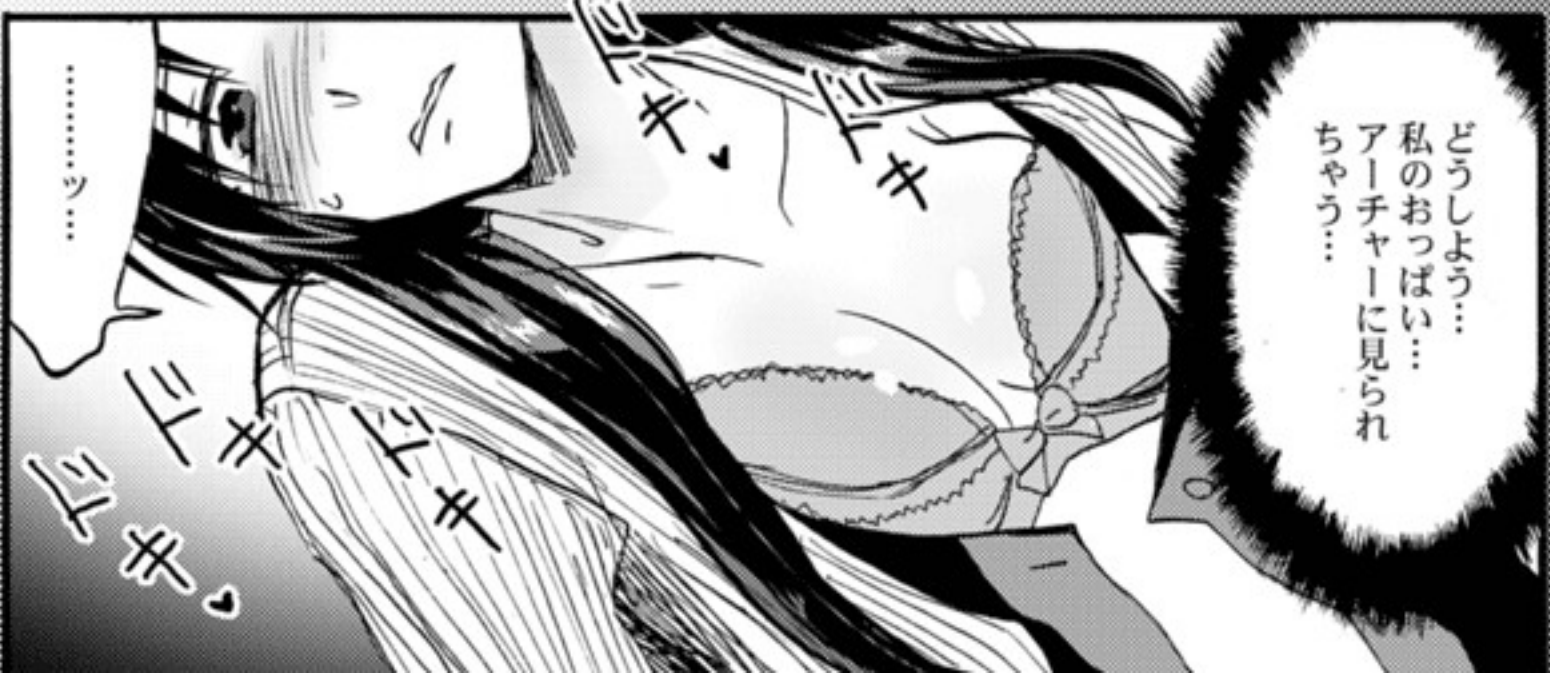
あなたの
鼓動も
聞こえるし

えっ!?



アーチャーの
長い指が…

下着……
新しいやつだけど
おかしく
ないかな…？



どうしよう…
私のおっぱい…
アーチャーに見られ
ちゃう…

……ッ……





ほう…
レースの薄ピンクか…

君のささやかな
胸によく似合って
可愛ら—



あんた
サイテーね！
…知ってたけど

な…何をす…ッ
私はただ褒めた
だけで…

デリカシーも
摩耗したか
コンチク
ショーツ!!



な…なんだ凛
ムネのサイズをそれほど
気にしているのか？
桜ほどではないが
ちやんとあるでは
ないか

あ…安心しろ
もつとすこい
マナ板も
見たことあるぞ

うるさい
だまれーっ!!

こんな時に
他の女の話
すんなア



凜！ 君は羞恥心を
攻撃に変換して
誤魔化そうとするのは
やめたまえよ！

うるさい
うるさい
うるさい！！
セクハラ
アーチャー！

君はもう
覚悟したのでは
ないのかね！？



11

……したわよ

……

……とっくの
昔にね

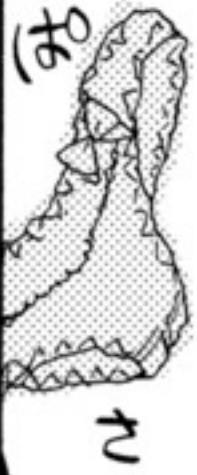


ああ…凛
きれいだよ

あんな
キレイな
子を見たこと
ないよ…



…ねえ
アーチャー
…これで良い？



あんなも
脱いだのね

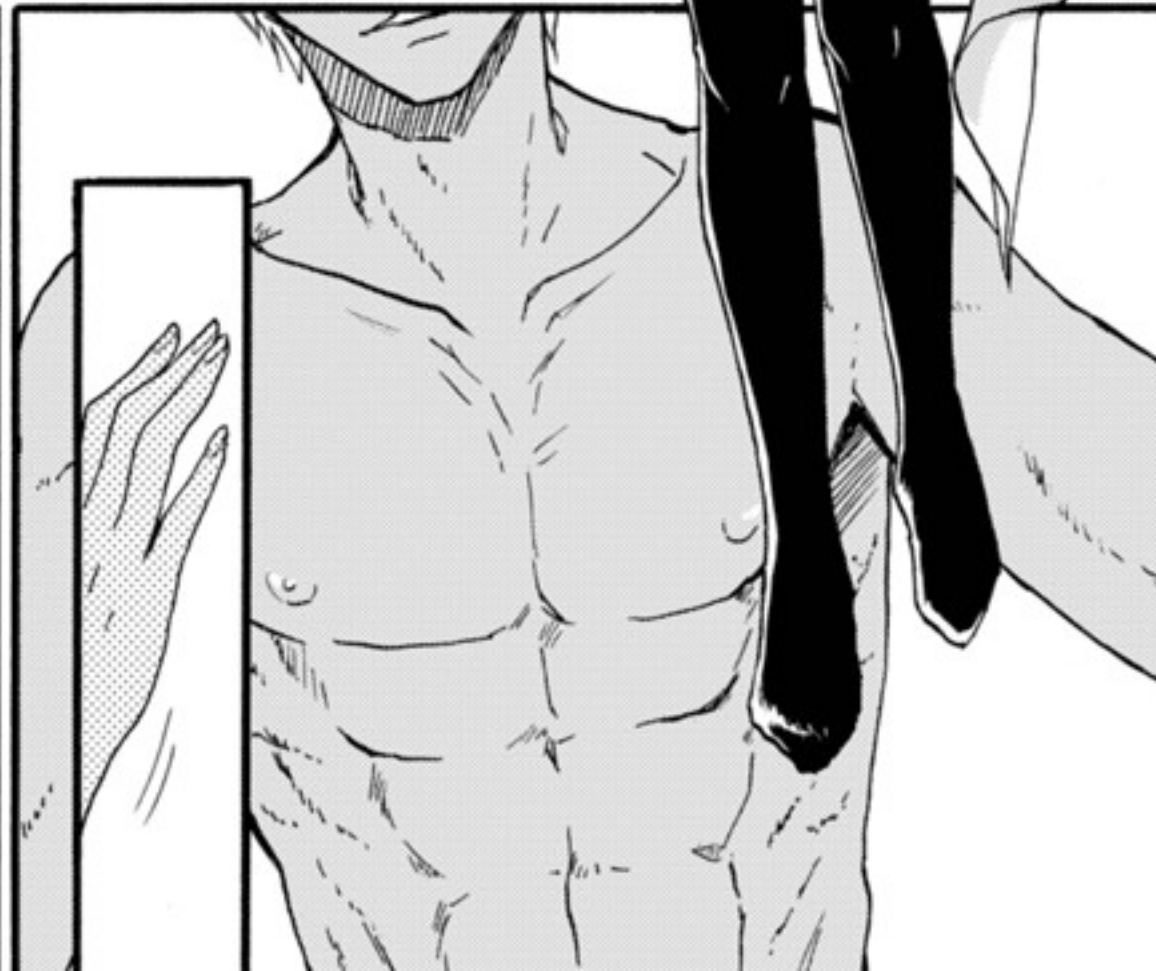
ほっす



それなりの努力の
結果だからな
褒めていただけると
悪い気はしないな

すっごい筋肉…

固いわ…





人じゃなくて
サーヴァント
だけど

.....
おどろいた...
人肌ってこんなに
あったかくて
きもちいいのね...



.....ああ
ハダカというのも
悪くないもの
だな...?



.....!?
どうした
凜?



うれしいのよ
アーチャー…

幼い頃から徹底して
教え込まれたわ…
私には——
遠坂家に代々伝わる
悲願だとか…

聖杯戦争に参加して
勝ち抜くだとか…
魔術師として
大切な使命があるの

…
凛…



誤解しないで
魔術師である事は
誇りに思ってるわ
お父様との思い出も…

でもね…だからこそ
特別な魔力のアドバンテージに
なりうる『純潔』は——
戦略として…
女としては不本意な形で
使い潰すことを
覚悟してたのよ…

命がけの
聖杯戦争の為なら
手段なんて選んで
いられないし…



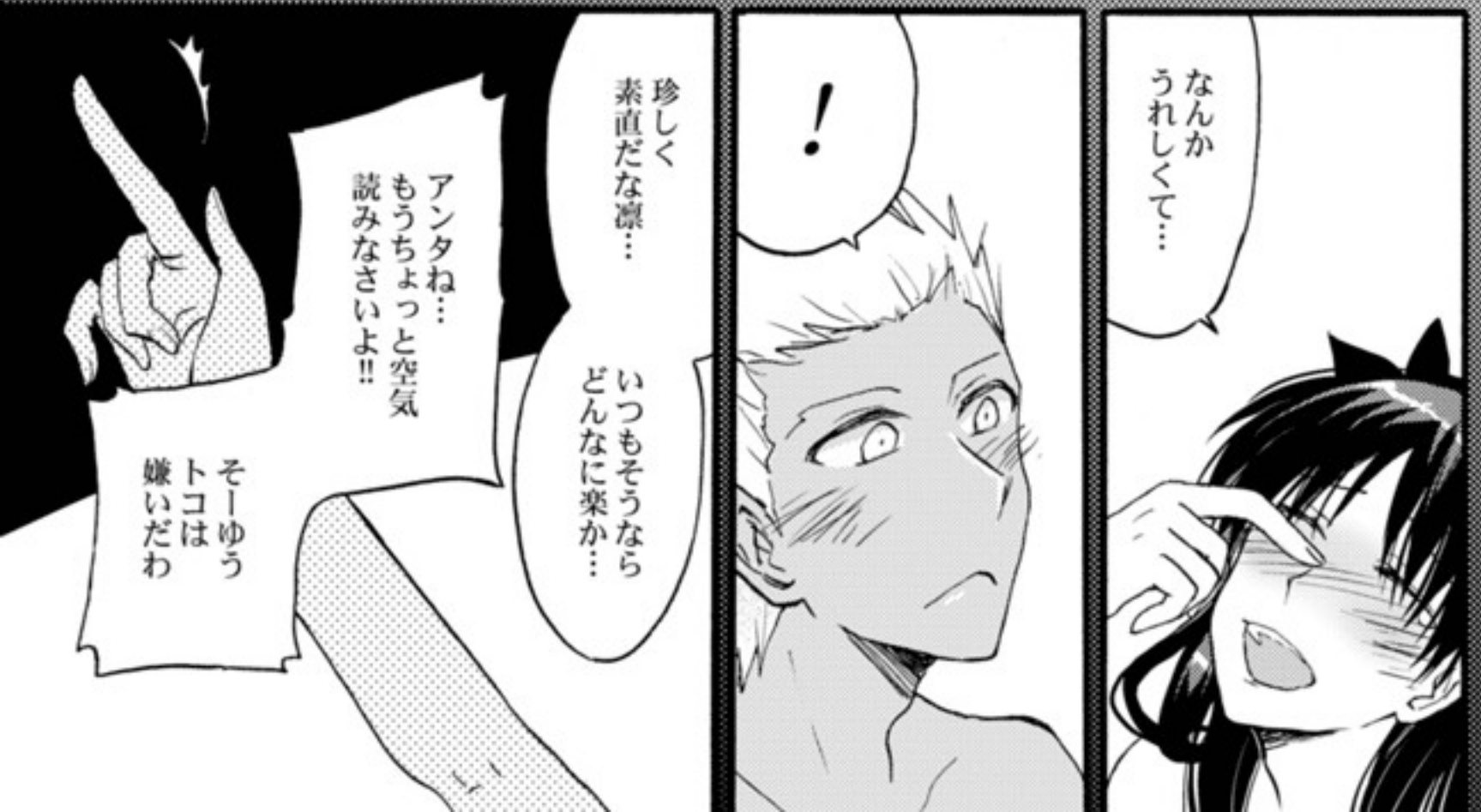
——なのに
いざ始まってみれば
聖杯は汚染されてるし

私達は都合良く
生き残っ
ちやったし——



ちよつと
夢みたい……

普通の女の子
みたいに……
好きなひとに
あげれるなんて……



アンタね……
もうちよつと空気
読みなさいよ!!

そーゆう
トコは
嫌いだわ

珍しく
素直だな凛……

いつもそうなら
どんなに楽か……

!

なんか
うれしくて……

私にデリカシーとか
ロマンティックさを
求められても
困るな！

その代わり…

君がちゃんと
気持ち良くなるまで
奉仕させてもらおうと
しよう

んな…

凛
目を逸らすなよ

君が
満足するまで

たっぷり
愛してやる

!!

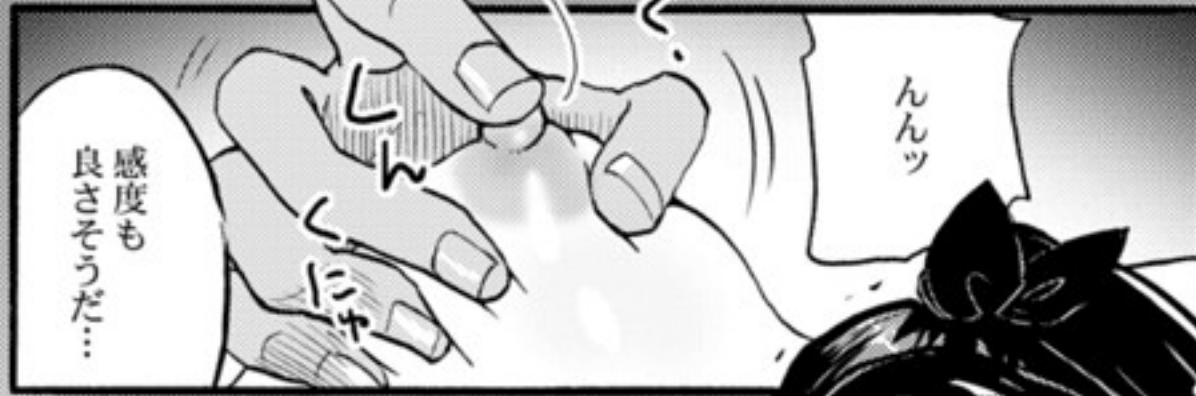
っわあ



やわらかいな



んっ



感度も
良さそうだ...



んんっ



あう...
やだ...ツ、ムリ...
恥ずかし...っ

れ



凍
目を瞑るな
私を見る

や...やあ...♡

んんっ

どうしよう
変な声出ちゃう...

う...

先っぽが
じんじんする...

ひび...

そうだ
可愛い声だ

いっく
いっく

ふあッ...

いやだ...
見られてる
私...

あ...っ

うっ...ッ

ああ!

凛
もっと
声を出して
いいぞ

やっ...

やっあッ

やだやだ恥ずかしい
あそこが濡れてるのが
自分でもよくわかる

ああウ

やっやっ

だめだめ

だめッ

凛...
腰が揺れている...
遠慮はいらん
もっと気持ち良くなれ

うそ!
うそ!
うそ!
こわい
おっぱいだけで
ヘンになっちゃう

れん
れん



すこ……
グロテスクね……
なんか脈打ってるし
……血管
きもちわるい……

……悪かったな

……ここ……
こんなの本当に
入るのかしら？

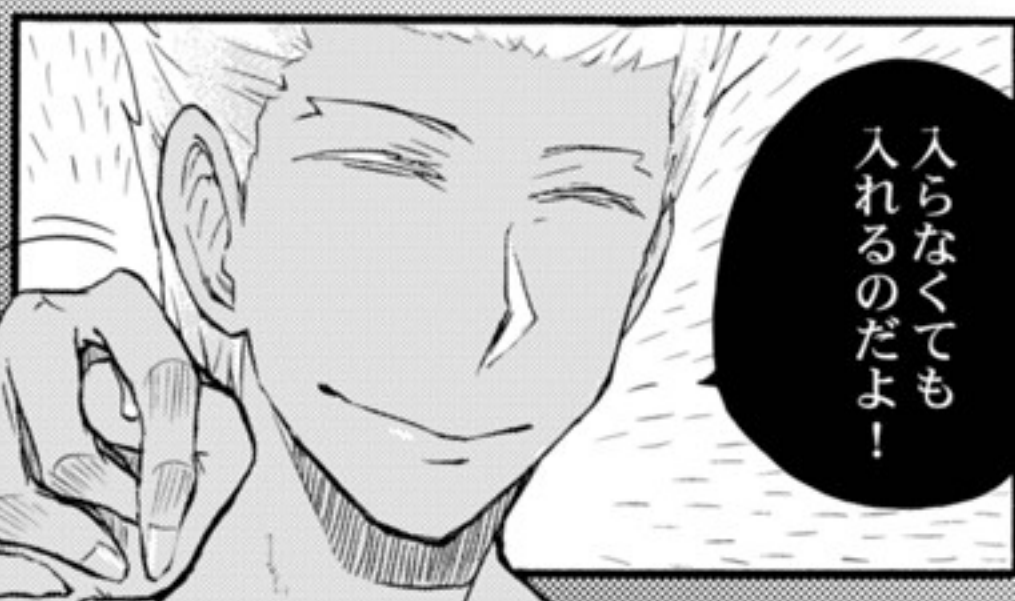
びくびく
動いてるし……
なんで……
……どうなってる
の？



恐怖心を
無くそう

大きさや形や
固さをよく
確かめてくれ

びく
ぶん！



入らなくても
入れるのだよ！



ん……う

変な味……



こ……こう？
わかんない……

そう……
くびれと
裏側の筋のところを
舐めるといい……



触って
舐めてみる
かね？

えっ!?

洗ってあるぞ





ああっ

うあっ...だめ

つまんじや
だめえ...

ひあっ



よく濡れて
いるな...凛

指を
入れるぞ

アーチャーが
私の恥ずかしいところ
顔...埋めてるう



指が
ナカに...ッ

それに...舌が...
生き物みたいに
絡みついて...

こら! 凛
逃げるな!
...快楽を恐れなくていい
...受け入れる

おかしく
なりそうなほど
きもちいい

うそ やっやっ
あつ、やだ...

なんか
出ちゃう...
うあ、やッ!



あつ ヤダア

やッ!!

出ッ
出ちゃう...



そんなの
出せばいい

んうっ....!

ふんふんふん

見られた…
見られちゃった…
…恥ずかしい
何これえっ…

そんな姿を
姿を見せられては
私もガマンできんな…

こわいっ…

からだ…ヘン…
いやああ…

あ……

君の中に
入るぞ 凛

力むと余計
痛む

力を抜いて
いろ

いったマ

凛 奥まで
入ったぞ

キツ…
息を吐け!

ふんふん

ふんふん



うれしい——

NOJUN
NOJUN
なれて

すごく
あつたかい



痛いのに——
苦しいのに——

ア……チャ……



~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

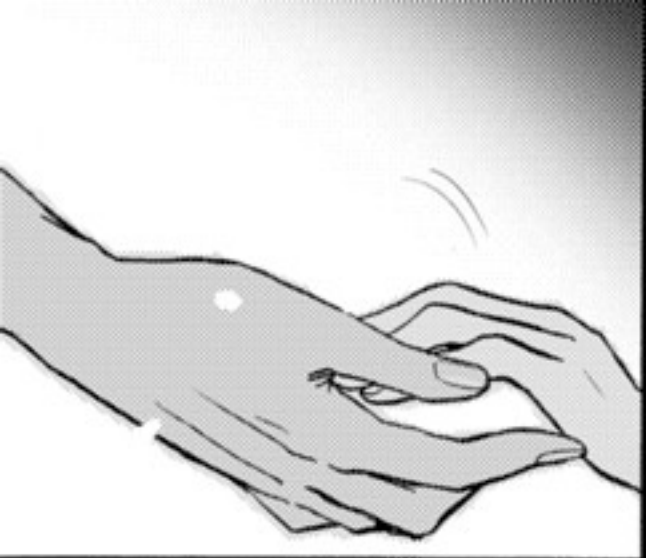
~~~~~  
~~~~~

ん……
あ……



純潔
の
下
で
は
天蓋
の
下
で

じゅんけつ
の
した
で
は
てんがい
の
した
で



まともに歩ける
気がしないわ…



いたた…
まだなんか
刺さってるみたい

…ねえ
アーチャー…
私…
大人に
なっちゃったね



いやー…
まだまだだぞ
涼

その、なんだ
大人の女性というのは
憤みがあつて…
男の顔をいきなり殴ったり
蹴ったりしないものだ

ハア!?
アンタさっきのアレ
まだ根に持つてんの!?

サーヴァントでしょ
そんならい…
どつてこと
ないくせに!

あとシーツは
洗つといてよね!

主従関係のまま
事を致すのを
嫌がつたのは
君じゃないか…

第一…別に
私は構わんが
血の付いた
シーツを男に
洗わそうとする
のは一般的に
どうかと思う
んだが…

普通は
恥じらつて
自分でやろう
とする
ものではないか
ね…?

私の事を何だと
思つてるんだね
君は…

えっ?

家政夫でしょ?

…地獄へ堕ちる
マスター